

非ウイルス性肝臓がんリスク検査を受けましょう

監修：日野病院組合日野病院 病院長 孝田雅彦（鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会委員長）

最近3年間の鳥取県内の肝臓がんの60%は、C型、B型肝炎ウイルスによるものではなく、肥満、糖尿病、高脂血症、高血圧、脂肪肝、アルコール性肝疾患などの生活習慣病を原因としています。

つまり、最近の肝臓がんでは、非ウイルス性の肝臓がんが多くを占めているのです。

非ウイルス性の肝臓がんは、発見されたときには手遅れのことが多く、治療が困難となっています。

町では、町の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診された方で、生活習慣病にかかる精密検査を受診した方の同意をいただき、精密検査結果から非ウイルス性肝臓がんのリスクを計算しています。

非ウイルス性肝臓がんリスク検査の流れ

受診
案内

特定健康診査、後期高齢者健康診査で生活習慣病要精密検査と判定された方に対し、健診結果を送付する際に非ウイルス性肝臓がんリスク検診の案内と **同意書** を同封します。

申込み

医療機関で精密検査を受診時に、**同意書** を提出してください。

検査

精密検査結果をもとに非ウイルス性肝臓がんのリスクの計算をします。

結果

検査結果をお知らせします。



検査結果の判定

検査結果は、危険性を3段階でお知らせします。

危険度	危険度の説明
低リスク	異常は有りません。
中リスク	軽度の肝線維化の可能性があります。 毎年、健康診査を受け、非ウイルス性肝臓がんリスク検診を受けましょう。
高リスク	肝臓がんを発症する危険性が高いので、精密検査、及び半年ごとの定期検査（血液検査・超音波検査）を受けましょう。



肝臓がんは、早期に発見することによって長生きすることができる時代となりました。低リスクの方は、肝臓がんになるリスクが極めて少ないことも明らかになっています。

町の特定健診や後期高齢者健康診査の結果で生活習慣病要精密検査と判定された方には、町から検診をご案内しますので、ぜひ非ウイルス性肝臓がんリスク検査を受けましょう。

問い合わせ先 健康対策課 健康増進室 TEL 0859-68-5536